




タイトル「**2015年度 経済学部シラバス**」、フォルダ「**2015年度 経済学部シラバス—専門科目（ビジネスマネジメント学科開設科目）**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	経営組織論		
担当教員	高岡 伸行		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	月5	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 3・4年次		
科目名（英語表記）	Organizational theories		
授業の概要・ねらい	組織の行動やそれを導く決定やマネジメントの対象として、個人および組織の意思決定や思考から照射する知見の提供と理解の促進を目指す。集団・組織のあり方の個人の意思決定への影響、組織的な情報・知識共有の方法に関する考えの理解から、組織管理や戦略的行動の理解、マネジメントのあり方に関する知見の提供と理解に努める。		
授業計画	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	ミクロ組織論の知見とパースペクティブ	
	3	組織における個の捉え方：期待，認知，組織コミットメント	
	4	予備日：視聴覚教材使用もしくは講義の進捗具合の調整	
	5	意思決定の構造：①選択の原理としての意思決定原理	
	6	意思決定の構造：②意思決定とパーソナリティ	
	7	意思決定の構造：③意味決定の思考	
	8	予備日：視聴覚教材使用もしくは講義の進捗具合の調整	
	9	情報処理・知識創造プロセスとしての組織学習：①組織学習論の基本的パースペクティブ	
	10	情報処理・知識創造プロセスとしての組織学習：②組織文化，組織パラダイムの構造と機能	
	11	情報処理・知識創造プロセスとしての組織学習：③ナレッジマネジメントのイノベーション創発の手法	
	12	予備日：視聴覚教材使用もしくは講義の進捗具合の調整	
	13	組織変革と意思決定構造	
	14	講義内容の復習と質疑	
15	まとめ：定期試験実施を予定		
到達目標	個人の思考，行動に与える集団の影響，その組織における功罪およびその影響を制御・促進する方法に関する理解を促す。また逆に集団および組織のあり方が個人の行動や思考に与える影響についての知見の提供と理解を促す。		
成績評価の方法	定期試験および講義中の提出物などを総合して評価する。		
教科書	特に使用しない。		
参考書・参考文献	Diamondハバード・ビジネスレビュー編集部編訳『意思決定のサイエンス』，『意思決定の技術』，ダイヤモンド社，スローン著，ディスカバークリエイティブ訳『イノベーション・シンキング』，ディスカバー		
	基本的なマナーを守れること。講義中に課題としてエクササイズを行って貰う場合があるので，形式的ではなく，獲		

履修上の注意・メッセージ	得した知識を活用してちゃんと自分の頭で考え、課題に取り組みことを期待します。私語にふけて講義の進行を妨害する輩には厳しい態度で臨む。受講生の数によっては、グループワークを課す場合があるので、出席はもちろん課題をきっちりこなせること。
履修する上で必要な事項	経営学，経営学総論Ⅰ，Ⅱ，簿記などを履修し，単位を修得していること。
受講を推奨する関連科目	人的資源管理論，企業戦略論，経営管理論
授業時間外学習についての指示	assignmentはグループワークを行う上で，重要な講義コメントの前提になるので，出題日から持参日まで数日掛けて仕上げる。また経済誌や経済ニュースなどで，企業動向に関する事例・トピックをフォローしておくこと。
その他連絡事項	

